研修の紹介

3. 園内研修

新人の保育士からベテランの保育士まで、慈光会では幅広い年齢層の保育士がいるのが大きな特徴です。しかし、同じ園で働いていても、意外と他のクラスの保育をゆっくり目にする機会はそう多くありません。そこで、各クラスの保育の様子を同じ園の保育士と見せ合います。アドバイスを送り合うことで、お互いの保育の良さに気づいたり、子どもへの理解が深まったりと、園の職員同士が学び合い、連携を高める上での重要な機会となっています。

4. 歌の研修

毎月1度、私立桐朋学園小学校の音楽専任教諭を長年勤められた市橋邦彦先生をお招きし、各園の代表にレッスンをお願いしています。
保育現場において「音楽」は、その中身をより豊かにするために無くてはならない、重要なものです。
子どもに音楽の楽しさを体験させるには、保育士が正しい発生と音感を身につける必要があります。
内容はその年々で異なりますが、「知っているつもり」で「なんとなく」行ってしまいがちな、歌う際の正しい姿勢や発声の仕方・楽器の扱い方などを学びます。